

一般質問（個人質問）通告書

受付	月	日
午前	時	分
午後		

平成26年 2月 28日

笠岡市議会議長 殿

笠岡市議会議員 樋之津 倫子 ㊟

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答弁を 求める者
1 住宅リフォーム助成制度の充実改善を求めて	<p>生活環境の向上、地域経済の活性化などを目指した住宅リフォーム助成制度は、創設2年目の今年度、補正予算を含め、6800万円の事業となる見込みです。経済効果抜群との呼び声にたがわず、住民要求にも応えていることが明白となりました。</p> <p>しかし初めての実施事業でもあり、これまでの運用について充実改善を求める声が相次いでいます。以下制度の充実・改善を求めます。</p> <p>①来年度一年で打ち切らず、更なる実施期間延長を図るべきと考えますがいかがでしょうか？</p> <p>②税の完納証明など手続きを簡素化し、利用しやすくすべきと考えますがいかがでしょうか？</p> <p>③対象を個人家屋だけでなく店舗の改修にも広げ、助成額も見合うものに定め、商店街の活性化にもつなげてはどうかでしょうか？</p>	市長
2 医療・介護の改悪から市民の命と健康を守るために	<p>今国会提出の「医療介護総合推進法案」は介護と医療について大幅な負担増と給付減を盛り込んでおり、消費税導入が社会保障のためでないことを露呈しています。市民の安全安心の介護・医療制度充実を図るために責任ある市の対応を求め、以下お尋ねします。</p> <p>①法案は要支援者向けの訪問・通所介護を市町村に丸投げし、事業費に上限を設ける、ボランティアに委ねるなど経費の徹底削減的的としています。市長の見解をお尋ねします。</p> <p>②医療で「機能分化」の名で行われる「急性期病床の削減」と“患者追い出し”の強化に対し、「地域包括ケア」の柱となる24時間巡回型サービスがないという現実の矛盾に対する市長の見解をお尋ねします。</p>	市長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答 弁 を 求 め る 者
3 教育の充実を求めて	<p>① 安倍政権の教育委員会制度改革案は、教育内容に対する政治的権力的介入から独立させる目的で設けられた委員会そのものの存立理由を180度覆し、政治権力が教育を支配する内容となっています。当初の「廃止論」は採用しなかったものの、教育委員会から実質的権限を奪い、形骸化させてしまいます。教育委員長の見解を求めます。</p> <p>② 岡山県は、新年度から「応援費」と称して学力向上、課題改善などで成果を上げた市内公立小中学校1校に対し、100万円を交付する考えを示しています。学校間の競争をあおり、点数主義助長が危惧され、関係者のヤル気を喪失させかねません。すでに辞退した首長もおられます。市長の態度表明を求めます。</p> <p>② 学校適正規模に関わる小中学校の統廃合問題は、何よりも子供・保護者・該当地域に関わる教員・地域住民の声が生かされてこそ、審議会の答申が裏付けられるというものです。その点の不十分さを今後どのように対応されるのでしょうか。</p> <p>③ 気候変動に伴う夏の酷暑の到来から何年も経過しましたが、この間子供たちの学習環境改善に向けた努力がなされてきました。空調設備がすぐにはできなくとも扇風機ぐらいあってもおかしくない、平成20年、普通教室に全室扇風機が備えられました。保育所にはゼロ歳児から保育されているのに空調設備も整っていないことから遅ればせながら平成24年、全保育所にエアコンが設置されました。今小中学校への空調設備設置計画や幼稚園への設置設計が計画されていますが、特に幼稚園は昨年度から3歳児保育が全幼稚園で開始され、緊急に整備が急がれるところです。今年の夏に間に合わせるべき喫緊の課題と思いませんがいかがですか。</p>	<p>教育委員長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>